

# 式年遷宮 いよいよ 集大成

## 伊勢神宮、2日から遷御



式年遷宮で建て替えられた伊勢神宮内宮の新社殿（下）と現社殿＝25日、三重県伊勢市（代表撮影）

事の集大成となる。

62回目となる今回の式年遷宮は2005年5月、安全を祈願する山口祭から始まった。

今年7月から9月までは、地域住民や全国の奉獻者らが内宮、外宮の新正殿が立つ敷地内に白石を敷き詰める御白石持行事が行われた。両宮とも9月に新正殿が完成。社殿を洗い清め、新正殿の床下に神秘の柱を建て、竣工を祝う儀式も行われた。

両宮とも、遷御前日には、新殿が無事に建てられたことに感謝する後鎮祭を皮切りに、新殿に納めるために新調された調度品「神宝」を神職が照合する御装束神宝誦合や、遷御に参加する神職や神宝、装束をおはらいして清める川原大祓が行

行われる。

当日は、遷御に先立ち、神様を迎える新正殿の内部を絹で覆うなどして装飾する御飾が行われる。

遷御が始まるのは暗くなってから。たいまつのみだけかともる闇の中、絹で覆われた御神体が現正殿から出発する。儀式には大勢の神職が参列し、新正殿にご神体を納める。大宮司と小宮司が扉を閉めて奉拝を行い、儀式が完了する。

遷御翌日は、それぞれ「引越」を終えた天照大神（内宮）、豊受大神（外宮）に新殿で初めて食事を供える大御饗や、旧殿内の宝物を新殿に移す古物渡など祭事が続き、宮内庁の楽員による御神楽の演奏で一連の儀式が終了する。

参拝客900万人突破

過去最高

伊勢神宮への今年の参拝客数が9月、900万人を突破し、1896年に統計を取り始めて以来、過去最高を記録した。

神宮司庁によると、900万人を突破したのは9月20日。23日現在で内宮が約593万人、外宮が約331万人、計約924万人となっている。これまで

の最高は2010年の約883万人だった。